

## 別府愛が源泉のニッチな紙面づくり「別府地獄極楽新聞」

温泉の湧出量と源泉数の日本一を誇り、「おんせん県おおいた」を代表する観光地・別府市。外国人旅行客をターゲットに、大分合同新聞社は別府市エリアのニッチな観光情報を扱うフリーペーパーを発行している。

その名も「別府地獄極楽新聞」。2015年の創刊当初から日本語、英語、中国語、韓国語で展開してきたが、この春リニューアル。英語がメインの媒体に生まれ変わった。別府市と連携し、外国人向けの観光案内所で配布している他、JR博多駅や成田空港といった交通の拠点に設置している。「タビナカ」にいる外国人旅行客に、別府の魅力を伝えることが第一の目的だ。

新・地獄極楽新聞はA4版16ページ。「普通の新聞だと掲載できないことをやろう」と、編集部員は体を張った企画に挑戦している。9月末に発行した最新号はラグビーワールドカップに（勝手に）合わせてとにかくビールを飲みまくる企画が巻頭特集。「地獄の夜祭～ベップヘルズナイト～」の「地獄の生き物展」取材では、世界最大級のオオヤスデを女性記者が素手で持った。有名なアニメのキャラクターに扮した記者が「温泉ハンター」になる企画や、タトゥーがあっても入浴できる温泉施設の紹介もある。

当然、読む人によってさまざまな意見があると思う。多様なとらえ方がある世界で、万人に受け入れられる媒体の答えは、だぶんだ。けれども、別府が好きな編集部員が全力で遊ぶ姿を通して、別府の楽しみ方が届けられればいい。新聞らしくはないが、別府を愛する気持ちが源泉のようにあふれ出すような紙面を作りたい。

ちなみに、地獄極楽新聞の日本語版は別府市の観光ホームページ「温泉ハイスタンダード 極楽地獄別府」<http://www.gokuraku-jigoku-beppu.com/>に記事提供している。編集部員の奮闘ぶりを温かい目で見てもらえたらうれしい。

大分合同新聞社 ビジネスサポート部 マネージャー 渡部さおり



マグマの力が形づくった奇観・景勝は、別府の地獄。人々を癒やす別府八湯や食・文化・人が、別府の極楽。「別府地獄極楽新聞」は地獄と極楽が同居した、別府を深掘りする新聞。